



そすいの郷

第351号
2023年(令和5年)
10月20日 編集・発行
西地区コミュニティ運営委員会
広報編集部会

(コキアの和名はほうき草。ひたち海浜公園のコキアは有名ですが、写真は10/5那須野が原公園で撮影したコキア、紅葉していました。)

4年振り開催 西地区コミュニティ親善スポーツ交流会

第36回「西地区コミュニティ親善スポーツ交流会」が9月24日(日)に開催されました。コロナの影響で4年振りの開催です。猛暑も去り、爽やかな秋空の下、参加者は西公民館グラウンドに集合。8時45分からの開会式に臨みました。会長挨拶に続き、今回行われるグラウンドゴルフと輪投げについての説明が行われ、グラウンドと西公民館ホールに分かれ、競技開始となりました。

グラウンドゴルフ

グラウンドに設定された8ホール(50m・30m・25m・15m各2ホール)を4度回り、その総打数を競いました。グラウンドゴルフはゴルフに似たルールですが、「空振りは打数に含まないこと(ゴルフでは1打)、ホールインワン1回につき合計打数から3打差し引いて計算すること」が大きな違いです。この日は18人が4組に分かれプレーしました。

毎週火曜日と土曜日に西公民館グラウンドで練習している方の出場も多く、何とホールインワンが13もあり、好スコアが続出しました。優勝は南赤田の小此木光子さん。ホールインワン2でスコアは71でした。(団体戦も行われ、1位三区町、2位南赤田、3位四区町でした。)



輪投げ

輪投げ台は、60cm×60cmの正方形の台で、上面は上段左より2・9・4、中段7・5・3、下段6・1・8の数字が付され、支柱が立っています。輪投げ台から5mの距離をとり、これに向かって樹脂製のリング(輪)を9本投げ、リングが入った支柱下の点数が1回の得点となります。

今回は、5セット(2回)投げて得点を競いましたが、優勝は北赤田の森靖治さん。223点の高得点でした。(上位5人の合計で競った団体戦では、1位四区町、2位南赤田A、3位三区町でした。)

この日、一緒に来た子ども達を対象に輪投げの面白さを覚えてもらうための「体験会」も開催され、大変好評でした。



～子どもを見守るまち宣言～『ながら見守り』にご協力を！

西地区コミュニティ運営委員会では、地域の宝である子どもを安心・安全に育む活動として、那須塩原市の「子どもを見守るまち宣言」に沿った活動に力を入れています。

【宣言の内容】◆地域ぐるみで、登下校時の子どもの見守りを推進します

◆地域ぐるみで、子どもを見守る意識を高めます

◆地域と行政が連携を深め、子どもの見守りの輪を広げます

皆さん一人一人の意識の積み重ねが地域の安全を高めますので、散歩中・庭の手入れ中・買い物途中など、日常の中での『ながら見守り』にご協力をお願いします。

生き物調査(三区町環境保全隊)

9月17日（日）水路と田んぼまわりの「生き物調査」が行われました。主催したのは三区町環境保全隊（猪狩正夫代表）です。9時40分、歴史公園に集合した親子ですが、すくい網を持参した子どもたち、開会を待ちきれずトンボ取りに挑戦していました。開会后、水路（どじょう池）に移動し、調査を開始。子どもたちは水路にすくい網を入れ、生き物の捕獲をしましたが、早々に「タガメがいました」と指導者の方の大きな声が上がりました。



捕獲後、歴史公園に戻り分別。種類毎に水槽に入れた後、指導者の方の説明がありました。魚類ではカワヨシノボリ、クロダハゼ、ドジョウ、メダカが確認できましたが、メダカについては、ペットとして飼われていたものでした。「ペットは安易に放流せず（生態系の乱れに繋がることから）、最後まで飼って欲しい」との話もありました。トウキョウダルマガエル、ヤゴ、ミズカマキリ、アメンボ、コオイムシなどのほか、巻貝では、絶滅危惧種のマルタニシ、ゲンジボタルの幼虫が食べるカワニナ、ヘイケボタルの幼虫が食べるモノアラガイが確認できました。9月半ばになっても暑い日が続いていましたが、オニヤンマ、ノシメトンボに加え、アキアカネの姿も見られました。

投稿

西小学校の5年生が稲刈りを体験しました。

9月26日（火）西小学校の5年生40名と先生5名が、四区町の田んぼの学校で、コシヒカリの稲刈りを体験しました。



この地域は、明治18年に掘削された那須疏水の恵みで稲作が行われていて、稲作を体験することで、地域を知り、農業の大変さを身をもって感じ、食べることの大変さを知ろうと行われているもので、5月16日に田植えをしたコシヒカリを、四区町環境保全会の役員や経験者が指導員となり、鎌で刈り取り、ワラでまるく※、はざがけ（天日干し）まで行いました。

代表の児童から、「稲刈りから縛り方、はざがけまで体験させていただき、ありがとうございました」とのあいさつをいただき、体験学習を終わりました。（四区町 山崎智雄）

※適当な大きさでまとめて縛ること。栃木県や福島県などで使われます。

五色沼自然探勝路散策ツアー

10月1日（日）に開催された西公民館講座（秋のハイキング教室）五色沼自然探勝路散策ツアー。初夏のハイキング教室（奥日光中禅寺湖千手ヶ浜クリンソウ散策ツアー）に続き参加しました。

この日は7時30分西公民館を出発。9時半過ぎには五色沼で一番大きな毘沙門沼の駐車場に到着。自然探勝路を毘沙門沼⇒赤沼⇒みどろ沼⇒竜沼⇒弁天沼⇒りり沼⇒青沼⇒柳沼と歩きました。

1888年（明治21年）磐梯山北側で起こった水蒸気爆発によって川がせき止められ出来た五色沼。

沼によってエメラルドグリーン、コバルトブルー、パステルブルーなどと色が違う不思議な場所のため「神秘の湖沼」と言われているとのこと。



一部色づいた木々も見られる中、湖沼の色を見比べながら「秋のハイキング」を楽しみました。

お昼前にはハイキング終了。12時発の桧原湖観光船に乗車。桧原湖の島めぐりも楽しみました。下船時は小雨となり、昼食はバスの中との方も多くいましたが、名物の山塩ラーメン（北塩原村大塩裏磐梯温泉の温泉水を煮詰めて作られる希少価値の高い塩（山塩）を使ったラーメン）を食べに出かけた方も。

帰路「道の駅猪苗代」に寄り、予定通り16時過ぎには、西公民館に到着しました。ハイキング教室は来年度も予定されているとのこと。楽しみにしています。（肥塚）